

第三十六号の三様式 (第六条関係) (A4)
定期検査報告書
 (昇降機)

各特定行政庁 宛て
 提出先: ~知事、~市長、~事務所長

(第一面)

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は
 事実に相違ありません。
 特定行政庁 様 **客先捺印日付を記入** 平成 年 月 日

所有者と管理者が異なる場合は管理
 者が報告者となる。

報告者氏名

印

氏名を自署す
 る場合は、押印
 の省略が可能

検査者氏名

印

- 【1. 所有者】
 【イ. 氏名のフリガナ】
 【ロ. 氏名】
 【ハ. 郵便番号】
 【ニ. 住所】
 【ホ. 電話番号】

・法人の場合は必ず 法人名、役職名、氏名を記入する。
 (個人所有者の場合は氏名のみ)

・住所は住居表示で記入すること。

- 【2. 管理者】
 【イ. 氏名のフリガナ】
 【ロ. 氏名】
 【ハ. 郵便番号】
 【ニ. 住所】
 【ホ. 電話番号】

所有者から昇降機等の維持管理上の権限を委託されている責任者で、
 管理人は含まず。

・区分所有法に準拠した管理者であること。
 共同住宅では、管理組合理事長名(〇〇管理組合理事長〇〇)と記入する。
 ・その他項目の記入上の注意は、所有者欄を参照。

- 【3. 報告対象建築物等】
 【イ. 所在地】
 【ロ. 名称のフリガナ】
 【ハ. 名称】
 【ニ. 用途】

建物名(〇〇ビル、△銀行□支店 など)を先に記入する。

建物の用途区分(事務所、ホテル、学校、工場、共同住宅 等)を記入する。

- 【4. 報告対象昇降機】

報告する台数を記入する。

- 【イ. 検査対象昇降機の台数】 (A 台)
 【ロ. 指摘の内容】
- | | | |
|-------------------------|--------------|------|
| 要是正の指摘あり、
要重点点検の指摘あり | B 台 (うち既存不適格 | C 台) |
| | D 台 指摘なし | E 台) |

- 【ハ. 指摘の概要】 「要是正」及び「要重点点検」の項目番号と検査項目を記入する
 【ニ. 改善予定の有無】 有 (平成 年 月に改善予定) 無
 【ホ. その他の特記事項】

整備確約書・整備完了届の添付

Bの台数は、第二面6欄【イ.指摘の
 内容】で、「要是正の指摘あり」に「レ」
 マークを入れた台数を記入。
 【注意】C・D・Eの台数は、Bの数え
 方と異なる(第二面6欄【イ.】で「レ」マ
 ークを入れた台数の合計とは限らない)
 ため、定期検査業務基準書40ペー
 ジを参照。

※受付欄	※特記欄
平成 年 月 日	
第 号	
係員印	

検査会社等の独自整理番号記入欄

協議会NO
 整理番号

【4. 報告対象昇降機】「ハ」
 「要是正」、及び「要重点点検」の指
 摘がある場合、点検項目の番号と、
 内容を簡潔に記入する。

【4. 報告対象昇降機】「ニ」
 「レ」マークを漏らさぬこと。
 「要是正」及び「要重点点検」に指
 摘がある場合には、「有」を選択。
 その際、改善の予定が決まっている
 場合には、「有」のチェックも入れ、
 あわせて年月を記入する。

【4. 報告対象昇降機】「ホ」
 指摘事項以外に、特に報告すべき
 事項がある場合に、記入する。

 定期検査業務基準書29ページを参
 照。